

平成 26 年 10 月 吉日

地域・保護者の皆様

新宿区立西新宿中学校
校長 島田 一宣

「全国学力・学習状況調査」及び「東京都生徒の学力向上を図るための調査」結果について

秋冷の候、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。日頃より、本校の教育にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、この度、4月に3年生を対象に行われました「全国学力・学習状況調査」と、7月に2年生を対象に行われました「東京都生徒の学力向上を図るための調査」の結果がまとまりましたので、ご報告いたします。

なお、今回の調査によって測定できるのは、生徒の学力の一部ではありますが、これらの調査から浮かび上がってきた具体的な課題を克服していくことを通して、生徒一人一人に、確かな学力を身に付けさせる学習指導を、今後も引き続き行ってまいります。

1 学力について

(1) 「全国学力・学習状況調査」より

本校における正答率の平均値は、国語の主として知識を問う調査において、東京都の平均値に並び、全国の平均値をやや上回った。国語の主として活用を問う調査、数学の主として知識を問う調査、数学の主として活用を問う調査においては、それぞれ東京都と全国の平均値を上回った。

(2) 「東京都生徒の学力向上を図るための調査」より

「教科の内容を問う調査」と「読み解く力に関する内容を問う調査」において、本校における正答率の平均値は、国語と社会における「関心・意欲・態度」と、数学における「思考・判断・表現」において東京都の平均値を上回ったが、総合的には、どの教科も東京都の平均値を下回った。

2 生活意識について（「全国学力・学習状況調査」より）

- ・『総合的な学習の時間』では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる」と思っている生徒の割合は **86.3%**で、全国や東京都の生徒と比べて、**29.1～31.5** ポイント高い。
- ・「生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」と思っている生徒の割合は **79.3%**で、全国や東京都の生徒と比べて、**17.4～18.3** ポイント高い。
- ・「自分には、よいところがある」と思っている生徒の割合は **79.4%**で、全国や東京都の生徒と比べて、**10.8～12.3** ポイント高い。
- ・「友達の前で考えや意見を発表することは得意」と思っている生徒の割合は **75.5%**で、全国や東京都の生徒と比べて、**10.0～10.2** ポイント高い。
- ・「学校に行くのは楽しい」と思っている生徒の割合は **75.5%**で、全国や東京都の生徒と比べて、**7.2～7.3** ポイント高い。
- ・「テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見ている」と思っている生徒の割合は **37.8%**で、全国や東京都の生徒と比べて、**11.3～13.5** ポイント低い。
- ・「人の気持ちが分かる人間になりたい」と思っている生徒の割合は **53.3%**で、全国や東京都の生徒と比べて、**9.0～9.1** ポイント低い。
- ・「家の人は、授業参観や運動会などの学校行事に来る」と思っている生徒の割合は **53.3%**で、

全国や東京都の生徒と比べて、6.4～7.2 ポイント低い。

- ・「塾なども含めて、普段（月～金曜日）、学校の授業時間以外に1日1時間以上勉強をしている」と思っている生徒の割合は69.2%で、全国や東京都の生徒と比べて、5.9～6.2 ポイント低い。

3 今後さらに身に付けさせたい力及び今後の取組（「東京都生徒の学力向上を図るための調査」を受けて）

（1）学習に関すること

| 教科 | さらに身に付けさせたい力 | 重点的に扱う取組 |
|----|------------------------------------|---|
| 国語 | 文章を書く力と、文章から設問に従って適切な言葉を取り出す力。 | 単元ごとに行う小テスト。長文読解や作文に関する指導。 |
| 社会 | 文章や資料の中から情報を取り出し、課題を解決する力。 | 繰り返し行う小テスト。事例を挙げて丁寧に説明する指導。 |
| 数学 | 推論して解決する力と、複数の事象を比較し、関連付けながら読み取る力。 | 繰り返し行う小テスト。既習事項を活用した問題演習。 |
| 理科 | 気体、光、浮力など、主に物理分野における理解力。 | 繰り返し行う小テスト。実験の内容や考察・データ処理について丁寧に説明する指導。 |
| 英語 | 英文を速やかに読んだり書いたりする力。 | 毎時間の確認テスト。基礎的な単語を活用した英作文及び読解指導。 |

（2）生活意識に関すること

- ・引き続き、生徒が話し合ったり、調べたことを発表したりする機会を多く設けていきます。
- ・世の中の出来事について、学活や道徳などで適宜生徒に伝え、考えさせます。
- ・生徒同士で、身の回りの問題に向き合い、お互いの気持ちについて考えながら解決に向けて取り組める場を充実させます。
- ・学校だよりや学年だよりなどで、学校行事に関するご家庭への案内を充実させます。
- ・家庭で学習した内容を、ノートやプリントなどで提出する課題を定期的に課します。

4 家庭において取り組んでいただきたいこと

（1）学習に関すること

- ・集中して机に向かえる環境を整えて、短時間でも、毎日習ったことを復習する時間を作る習慣を作らせてください。（全教科）
- ・宿題は期日に提出できるよう、確認や声かけを行ってください。（全教科）
- ・日ごろから、時事問題への関心を高めるべく、ニュースや新聞に触れて、意見交換などをしてください。（国語・社会）
- ・英語の検定試験などにも関心をもたせてください。また、教科書準拠のリスニングCDを購入された方は、そちらも予習・復習に活用させてください（購入を希望される方は学校へご連絡ください）。（英語）

（2）生活意識に関すること

- ・引き続き、子供の良い点はしっかりとほめてあげてください。
- ・テレビや新聞のニュースなどを、子供との会話の話題にしてください。
- ・折に触れて、子供の言動によって周囲の人が抱く感情について考えさせてください。
- ・授業参観や運動会などの学校行事に、積極的にいらしてください。
- ・学校以外の場で、子供が一定時間集中して勉強できる環境を整えてください。